

2012年3月期  
(FY2011)  
連結決算報告

---



大幸薬品

2012年5月  
大幸薬品株式会社



- 構造改革の結果、連結業績が大幅に回復
- 期末配当を15円に増配  
(普通配当10円(5円増配)、特別配当5円)

# 連結經營成績

# 連結経営成績サマリー

## ➤ 堅調な医薬品と感染管理の復調から、連結業績が大幅に回復

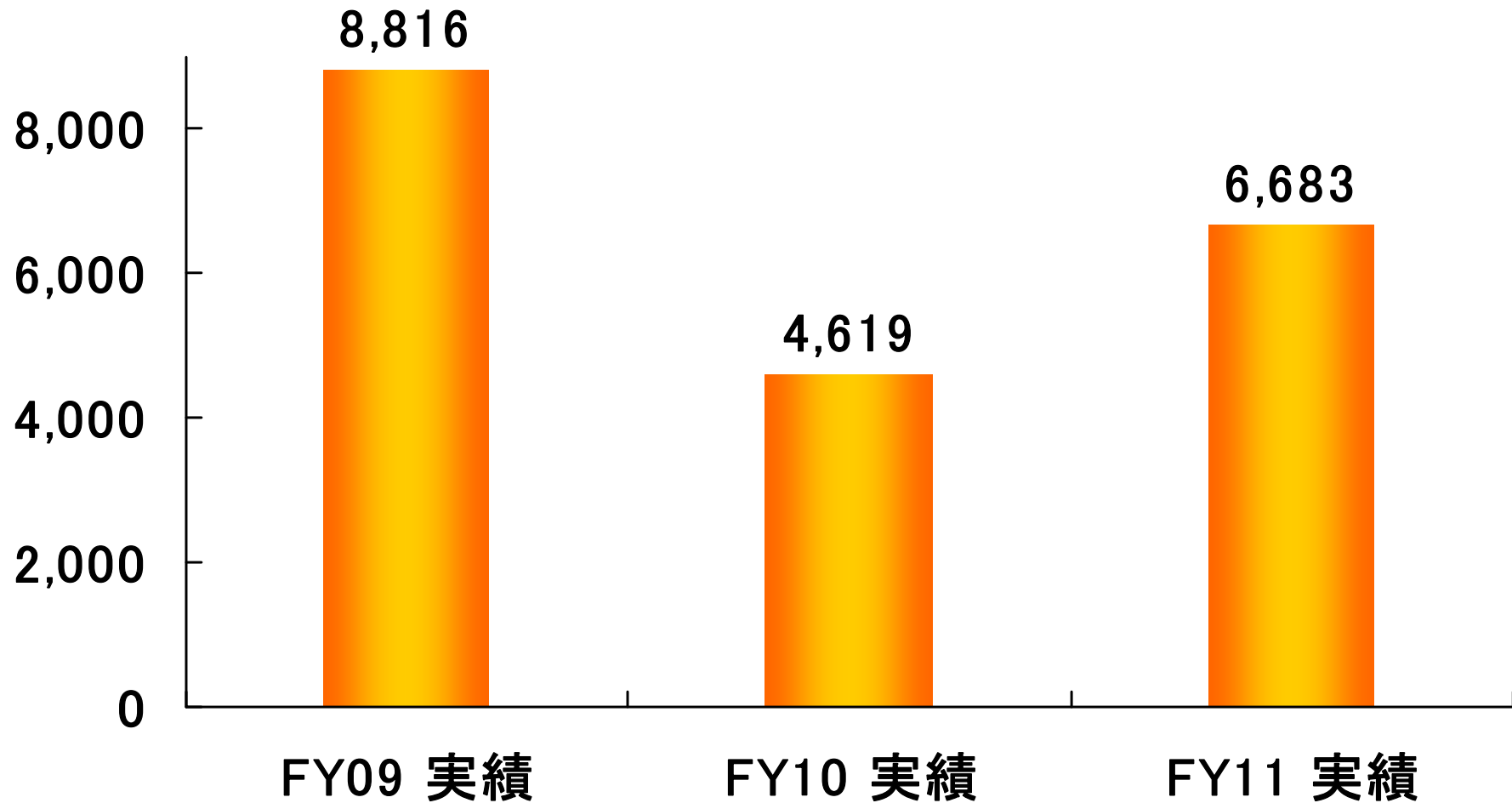
単位：百万円

	FY10 実績	FY11 実績	増減	増減率	増減要因等
売上高	4,619	6,683	2,064	44.7%	医薬品 : 前期比472百万円増加 感染管理 : 前期比1,596百万円増加
売上原価(※) (売上高比率)	1,733 (37.5%)	2,194 (32.8%)	461	26.6%	
売上総利益	2,886 (62.5%)	4,489 (67.2%)	1,603	55.5%	売上高増加に伴い増益、利益率改善
販売費及び 一般管理費	4,128	3,974	△154	△3.7%	販売促進費の減少、在庫圧縮による保管料の減少、研究開発費の減少等
営業利益	△1,242 (△26.9%)	515 (7.7%)	1,757	—	営業損益が回復
経常利益	△1,192	558	1,751	—	
当期純利益	△2,228 (△48.2%)	482 (7.2%)	2,710	—	前期: 特別損失803百万円計上 (在庫処分損、希望退職者の割増退職金等) 当期: 特別損失144百万円計上 (退職給付制度改定損等)
ROE	△23.6%	5.7%			
EPS(円)	△173.55	37.23			

(※) 返品調整引当金計上後の売上原価

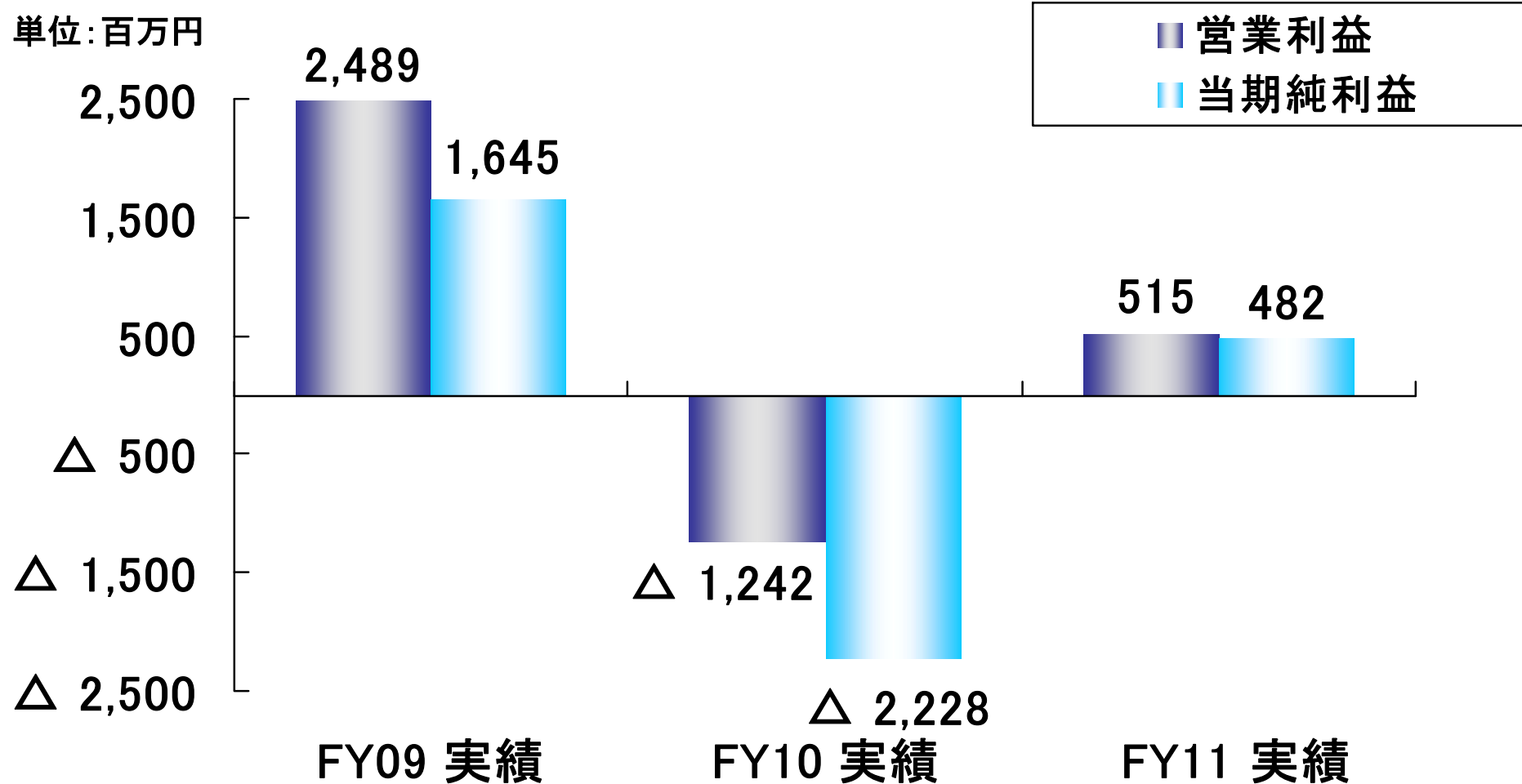
## ➤ 医薬品、感染管理ともに売上高増加

単位：百万円



# 連結営業利益・当期純利益推移

➤ 営業利益、純利益ともに黒字回復



# 販売費及び一般管理費

▶ 売上高増加の一方、構造改革の効果によりコストが減少

単位：百万円

	FY10 実績	売上高 比率	FY11 実績	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
<b>販売費</b>	1,702	36.8%	1,519	22.7%	△183	△10.8%	
広告宣伝費	993	21.5%	970	14.5%	△22	△2.2%	
販売促進費	504	10.9%	405	6.1%	△98	△19.6%	FY10は、感染管理の過剰在庫処分と製品認知向上への無償配布実施
運送費	204	4.4%	142	2.1%	△62	△30.4%	感染管理の自社在庫圧縮による在庫保管料の減少
<b>人件費</b>	1,305	28.3%	1,470	22.0%	165	12.7%	業績連動賞与の引当金増加等
<b>その他経費</b>	1,121	24.3%	984	14.7%	△136	△12.2%	
研究開発費	291	6.3%	205	3.1%	△86	△29.5%	感染管理事業関連の見直し
支払手数料	235	5.1%	213	3.2%	△22	△9.7%	
<b>計</b>	4,128	89.4%	3,974	59.5%	△154	△3.7%	

# 連結財政状態

▶ 損益面の回復により、現預金が増加

単位:百万円

	FY10 期末	FY11 期末	増減	増減率	増減要因等
流動資産	7,431	8,712	1,281	17.2%	
現金及び預金	4,185	4,661	475	11.4%	営業CF 533(EBITDA 773百万円) 投資CF △117 財務CF △24
売上債権	1,322	2,443	1,121	84.8%	売上高伸長に伴う売上債権の増加
たな卸資産	1,526	1,352	△173	△11.4%	売上高増加と在庫処分による減少
固定資産	3,822	3,548	△273	△7.1%	所有不動産売却等
資産合計	11,253	12,261	1,007	9.0%	
流動負債	2,040	2,405	364	17.9%	業績連動賞与の引当金増加、 仕入債務増加等
仕入債務	314	387	72	23.1%	
固定負債	919	1,072	153	16.7%	制度改定に伴う退職給付引当金の 増加等
純資産	8,293	8,783	490	5.9%	利益剰余金の増加等
負債純資産合計	11,253	12,261	1,007	9.0%	

自己資本比率	73.6%	71.3%
--------	-------	-------



# 連結キャッシュ・フロー状況

➤ 損益面の回復により、営業活動CFが改善

単位：百万円

	FY10 実績	FY11 実績	主な要因
営業活動CF	△1,690	533	EBITDA 773百万円
投資活動CF	828	△117	医薬品に係る設備投資等△180百万円等
財務活動CF	△61	△24	配当金支払△62百万円 ストックオプション払込収入36百万円等
現金・同等物換算差額	△58	△10	
キャッシュ増減(※1)	△981	380	
キャッシュ期末残高	4,073	4,454	

EBITDA(※2)	△1,001	773	営業利益 515百万円 減価償却費 258百万円
------------	--------	-----	-----------------------------

(※1) キャッシュ増減 = 営業CF + 投資CF + 財務CF + 現金・同等物換算差額

(※2) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

# セグメント情報

# セグメント別事業概況(連結損益サマリー)

- 医薬品事業 : 増収増益、費用配賦割合も低下し、利益率が改善
- 感染管理事業 : 売上高回復、損益面も改善

単位:百万円

	売上高			営業利益			
	FY10 実績	FY11 実績	増減率	FY10 実績	利益率	FY11 実績	利益率
医薬品事業	4,612	5,085	10.2%	1,814	39.3%	2,102	41.3%
感染管理事業	△20	1,576	-	△1,635	-	18	1.2%
その他事業	26	21	△18.3%	△22	-	△21	-
全社(※)	-	-	-	△1,399	-	△1,585	-
連結合計	4,619	6,683	44.7%	△1,242	△26.9%	515	7.7%

※全社に係るコスト(主に企業広報・管理部門コスト)

# セグメント別事業概況(医薬品事業/国内)

- 広告・販促強化により、主力製品の出荷と市場シェアが堅調に推移
- 新たな止瀉薬『ピシャット錠』、小児五疳薬『樋屋奇応丸』も増収に寄与

## 製品別売上高

単位:百万円



正露丸

セイロガン糖衣A



ピシャット錠

	FY10 実績	FY11 実績	増減	増減率
正露丸	1,787	1,907	120	6.7%
セイロガン糖衣A	1,955	2,131	176	9.0%
その他(※)	78	192	113	144.5%
計	3,821	4,231	409	10.7%

(※) 止瀉薬『ピシャット錠』、小児五疳薬『樋屋奇応丸』、整腸薬『ラッパ整腸薬BF』等

## 当社国内止瀉薬市場シェア

出所: (株)インテージ 調査データ

店頭小売価格ベース	FY10	FY11	増減
市場シェア (%)	51.1%	52.5%	1.4P



樋屋奇応丸

# セグメント別事業概況(医薬品事業/海外)

- 重点エリアの中国向け売上高が増加、円高影響も吸収
- 香港に続き中国でも『セイロガン糖衣A』を販売開始



正露丸



セイロガン糖衣A

## 地域別売上高

単位:百万円

	FY10 実績	FY11 実績	増減	増減率
中国・香港	684	729	45	6.6%
台湾	80	119	38	47.7%
その他(※)	27	5	△21	△79.0%
計	791	854	62	7.9%

(※) その他の対象エリア:

米国、カナダ、タイ、マレーシア、インドネシア、ベトナム、モンゴル

# セグメント別事業概況(感染管理事業)

- 広告・販促強化による出荷増加と返品縮小から、売上高が著しく回復
- 季節性インフルエンザの影響から、4Qの出荷が大幅に急伸



クレベリン スプレー



クレベリン ゲル



クレベリン ミスティック  
ディズニーバージョン ©Disney



クレベリン発生機  
リスパス S



クレベリン発生機  
リスパス NEO

## 製品カテゴリー別売上高

単位:百万円

	FY10 実績	FY11 実績	増減	増減率
液剤	△145	134	279	-
ゲル剤	137	1,346	1,208	878.8%
キット	1	10	8	468.1%
クレベリン発生機(※1)	37	89	51	138.0%
その他(※2)	△51	△2	48	-
計	△20	1,576	1,596	-

(※1) 低濃度二酸化塩素ガス発生装置

(※2) 『クレベリン マスク』、『クレベリン ハンドジェル』

# セグメント別事業概況(その他事業)

## ➤木酢入浴液、園芸用木酢液等を製造販売



木酢入浴液



木酢液

### その他事業製品売上高

単位：百万円

	FY10 実績	FY11 実績	増減	増減率
木酢製品等	26	21	△4	△18.3%

# 2013年3月期(FY2012) 連結業績予想



# FY12 連結業績予想

- 感染管理事業を保守的に予想
- 営業利益は増益を計画

単位：百万円

	FY11 実績	FY12 予想	増減	増減率	主な前提
売上高	6,683	6,500	△183	△2.7%	
医薬品	5,085	5,201	116	2.3%	国内、海外(主に中国)ともに前期比増 セイロガン糖衣Aの販売強化
感染管理	1,576	1,273	△302	△19.2%	FY12は、FY11のインフルエンザ流行による 特需を排除し保守的に予想
その他事業	21	25	3	15.4%	
営業利益	515	550	35	6.8%	販管費減少により増益を計画
経常利益	558	530	△28	△5.1%	為替影響を保守的に見積もり
当期純利益	482	500	18	3.9%	

設備投資	201	416	医薬品事業に係る生産設備等		
------	-----	-----	---------------	--	--

# FY12 連結業績予想(販売費及び一般管理費)

## ▶ 広告宣伝費、人件費が減少

単位:百万円

	FY11 実績	売上高 比率	FY12 予想	売上高 比率	増減	増減率	増減要因等
販売費	1,519	22.7%	1,445	22.2%	△73	△4.8%	
広告宣伝費	970	14.5%	890	13.7%	△79	△8.2%	メディアミックス見直しから国内減少、 中国で新CM開始
販売促進費	405	6.1%	418	6.4%	12	3.2%	
人件費	1,470	22.0%	1,289	19.8%	△181	△12.3%	業績変動による賞与の増減は織り 込まず
その他経費	984	14.7%	1,047	16.1%	62	6.4%	
研究開発費	205	3.1%	252	3.9%	46	22.7%	感染管理事業関連を強化
支払手数料	213	3.2%	184	2.8%	△28	△13.2%	
計	3,974	59.5%	3,782	58.2%	△191	△4.8%	



# 大幸薬品

## ＜将来情報に関する注意事項＞

当資料に記載されている将来情報は、種々の前提に基づくものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。